

コミュニティバスと、まちの情報をお届けします。

とつべっバス通信



2010年7月1日発行 発行：当別町地域公共交通活性化協議会



6月11日(金)、当別町役場で、「第1回当別町地域公共交通活性化協議会」を開催しました。今年度最初となる協議会では、新しく委員になった方の紹介や役員の新選任をはじめ、平成21年度の事業実績と決算、監査報告を行いました。また、今年度の事業計画や予算についてなど、本格運行に向けて話し合いました。

平成22年度

第1回当別町地域公共交通活性化協議会開催

昨
年
好
評

「夏休み子ども定期券」 今年も発売！

7月16日(金)より

当別ふれあいバスの全路線が、夏休み期間中乗り放題になる小中学生限定の「夏休み子ども定期券」が、今年も発売になります。

夏休み期間中は、友達と一緒にふれバに乗って、公園やプール、図書館などへどんどん出かけよう！

こんにちは、とつべっバス通信です。

平成18年度から実施している実証運行も、今年度で終了となります。

今年度は、路線やタイヤの改善をはじめ、運行体制の整備を行い、本格運行の実現を目指します。

当別町民の公共交通として大切に育んできた「ふれバ」を来年度以降も存続できるように、より一層のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。



- 販売期間：2010年7月16日(金)～8月19日(木)
- 有効期間：2010年7月23日(金)～8月19日(木)
- 料 金：小学生／500円、中学生／1,000円
- 販売場所：当別ふれあいバス応援券販売所

有限会社下段モーターズ、ふれあい倉庫、当別町商工会、高齢者クラブ連合会(当別町社会福祉協議会内)、小島商店、スウェーデンヒルズ管理センター

お知らせ

当別町140年記念イベントと併せて
昨年より「ハッピーP」!

「バスまつり2010」(仮称) 10月9日(土)開催決定!

開催場所：石狩当別駅南口駅前駐車場
開催日：ふれあい倉庫

「バスまつり」は、地域のみなさんに、当別ふれあいバスをはじめ、公共交通に関心や興味を持ってもらうことを目的としたイベントです。昨年好評だったことを受け、今年も10月9日(土)に開催が決められました。

今年も会場では、さまざまなバスの試乗会やゲーム大会、収穫祭、駅伝大会などたくさんの方のイベントを予定しています。

詳しくは、とつべっバス通信やチラシなどでお知らせしますので、楽しみにお待ちください!



バスまつり2010(仮称) 飲食ブース出店者大募集!!

会場のお客さん、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。応募条件等の詳細については、協議会事務局までお問い合わせください。



コミュニティバス、
本バス通信へのお問合せ

当別町地域公共交通活性化協議会事務局(当別町企画部企画課内)
〒061-0292 当別町白樺町58-9 TEL0133-23-3042 FAX0133-23-3206

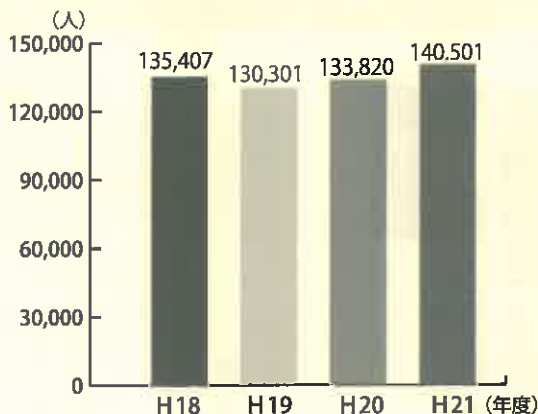
平成21年度 「当別ふれあいバス」利用状況報告

昨年度の「ふれあいバス」利用者数は、前年を上回る140,501人と過去最高の利用者数でしたが、運行収入(※)でみると、前年より40万円弱の減少。平成18年度から平成20年度までは、少しずつ収入が増えていきましたが、昨年度は、運賃収入と応援券の販売額が減少したため、収入が減る結果となりました。

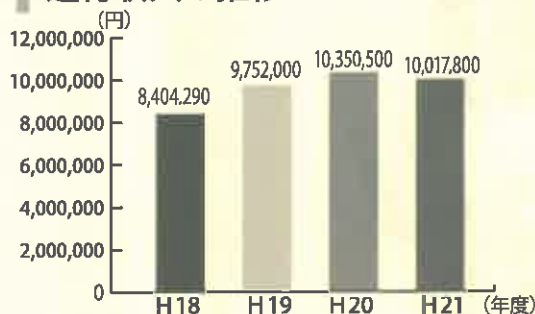
ふれあいバスの全体の利用者数は、平成19年度より増加傾向にあります。路線別の利用者数では、金沢線が45,087人と最も多く、次いで、あいの里線の36,709人、西当別線の23,449人でした。1便当たりでは、あいの里線が9.4人と最も多く、次いで西当別線が8.0人、金沢線が7.1人という状況でした。

利用者数の推移

昨年度は、夏季の利用者が伸び、全体の利用者数を押し上げた。



運行収入の推移



昨年度は、ふれあいバス利用者数が増えたものの、有料での利用者の割合が減り、無料チケットの利用者が増えたことから、収入減となりました。

路線別 1日の平均利用者数(平日)

金沢線の利用者数が最多。北海道医療大学行の第1便を大学の講義1講目に合わせて運行したところ、利用者が激増した。

- 循環(昇順) **21.7人**
(1日8便運行:1便当たり2.7人乗車)
- 循環(降順) **13.8人**
(1日7便運行:1便当たり2.0人乗車)
- ★西当別線 **95.7人**
(1日12便運行:1便当たり8.0人乗車)
- ★あいの里線 **149.8人**
(1日16便運行:1便当たり9.4人乗車)
- ★金沢線 **184.0人**
(1日26便運行:1便当たり7.1人乗車)
- みどり野線 **10.4人**
(1日4便運行:1便当たり2.6人乗車)
- 青山線 **52.4人**
(1日12便運行:1便当たり4.4人乗車)

1日の平均利用者数(土・日・祝)

- 西当別線 **73.6人**
(1日24便運行:1便当たり3.1人乗車)
- 青山線 **17.5人**
(1日7便運行:1便当たり2.5人乗車)

土曜・日曜・祝日の利用者数では、昨年度と比べ、青山線では、「R石狩当別駅南口行は微減、青山会館行は微増の傾向が見られました。また、平成20年度から運行を開始した金曜・土曜限定の予約型深夜バス「Suisuiふれバ」は、昨年度と比べ、金曜日の利用者数は増加し、土曜日の利用者は減少している結果となりました。

ふれあいバスの利用者数は、平成19年度より増加傾向にありますが、運行経費に対する運行収入は十分とはいえません。来年度以降の本格運行実現のために、これからもふれあいバスをご利用いただけますよう、どうぞよろしくお願いたします。

※運行収入は、運賃収入、全路線乗り放題の応援券(定期券)と回数券の販売収入になります。



ふれっバス通信



2010年8月1日発行 発行：当別町地域公共交通活性化協議会

こんにちは、ふれっバス通信です。夏真っ盛りですね。夏バテなどしていませんか？

今回は、ふれあいバスの本格運行に向けた当別町コミバス運行事業者連絡会議の報告と、北海道日本ハムファイターズ観戦ツアーの開催模様を中心に伝えさせていただきます。



当別ふれあいバス利用促進事業&当別140年記念

第1回 当別町コミバス運行事業者連絡会議 開催

6月24日(木)、当別町役場で、北海道医療大学、スウエーデンハウス株式会社、有限会社下段モーターズ、当別町で構成される当別町コミバス運行事業者連絡会議を開催しました。今回の会議では、本格運行に向けた路線の検討と運行体制や運行経費などについて協議し、その中でも運行経費について重点的に話し合いを行いました。

現段階で、来年度運行した場合の収支を算出すると約200万円の赤字が見込まれます。このため、本格運行するためには赤字の解消が必須となり、路線の減便や、運賃の値上げなども視野に入れた検討が必要になります。



今後、会議を重ね本格運行に向けた協議を行ってまいります。会議の内容は、随時「ふれっバス通信」で報告させていただきます。

北海道日本ハムファイターズ観戦ツアー開催報告

今年で2回目となる「北海道日本ハムファイターズ観戦ツアー」が、7月9日(金)開催されました。

今回は、当別町140年を記念し、当選者数を140名まで拡大。当日はバス4台を貸切ついで、会場となる札幌ドームに向かいました。

今回、友人と二人で参加した女性は、「ふれっバスは、ふだん月に2回程度の利用。応募期間中は、5くら回乗った」と話します。ふれっバスの利用者数増加に貢献いただきました。

試合は、ファイターズが序盤から得点を重ね、有利な試合運びのまま試合終了。ツアー参加者はおおいに盛り上がりました。



当別ふれあいバスキャンペーン
北海道日本ハムファイターズ観戦バスツアー

ふれっバス

コミュニティバス、本バス通信へのお問合せ

当別町地域公共交通活性化協議会事務局(当別町企画部企画課内)
〒061-0292 当別町白樺町58-9 TEL0133-23-3042 FAX0133-23-3206

「夏休み子ども定期券」好評発売中!

販売・有効期間 8月19日(木)まで

当別ふれあいバスの全路線が、夏休み期間中
乗り放題になる小中学生限定の「夏休み子ども
定期券」が発売中です。

夏休みの自由研究などの宿題をはじめ、公園
やプールなどへ遊びに出かけるのにも、とって
も便利な定期券をどんどん使おう!

みどり野
青山線

61 採用植物園に行く時は、
「バス停：北海道医療大学」
で降りよう!

行く前に連絡して、保護者の人と一緒に
行つてね(電話：23-3792)

44 レクサンド記念公園に行くときは、
「バス停：レクサンド記念
公園」で降りよう!

遊遊公園に行くときは、運転手
さんに「遊遊公園で降ります」
と伝えよう!(フリー乗降区間)

44 西当別・あいの里線

61 北海道
医療
大学駅

市街地循環線

ふくろう図書館や、当別小学
校のプール、総合体育館など
に行く時にも利用できます。

夏休みの
自由研究や遊びに
行くときは
ふれバが便利!



■料 金：小学生/500円、中学生/1,000円
■販売場所：当別ふれあいバス応援券販売所

有限会社下段モータース、ふれあい倉庫、当
別町商工会、高齢者クラブ連合会(当別町社
会福祉協議会内)、小島商店、スウェーデン
ヒルズ管理センター

※④数字は、バス停の番号です。

お知らせ

(仮称)

バスまつり2010

10月9日(土)開催

開催所 石狩当別駅南口駅前駐車場
開場 ふれあい倉庫

今年のバスまつりは、当別町140
年記念と併せ、楽しいイベントが目白
押しです。バス試乗会では「北海道日本
ハムファイターズ号」や、薪を燃料とす
るレトロなバス「まき太郎」が登場!
その他さまざまなイベントを企画中
です。

バスまつりのイベント内容は、また
次号で詳しくお知らせします!
どうぞ、お楽しみに!



バスまつり2010(仮称) 飲食ブース出店者大募集!!

全場の都合上、応募多数の場合は抽選とさせて
いただきます。応募条件の詳細については、協
議会事務局までお問合せください。

七つべつバス通信



2010年9月1日発行 発行：当別町地域公共交通活性化協議会

こんにちは、七つべつバス通信です。暑かった夏も瞬く間に過ぎ、秋の足音が近づいてきました。

今回のバス通信は、来月開催される「バスまつり2010」の内容をメインに、第2回目となる事業者会議の報告などをお知らせしていきます。

10月9日(土)、JR石狩当別駅南口で、今年で2回目となる、「バスまつり2010」を開催します。

このイベントは、みなさんに、当別ふれあいバスをはじめ、公共交通に関心や興味を持ってもらい、利用してもらうことを目的として開催するものです。

今年、当別町が140年を迎える記念の年。今年のバスまつりは、当別町140年記念行事と併せ、昨年よりパワーアップしたさまざまなイベントを企画しています！

今回のバス通信では、バスまつりのイベント内容を紹介していきます！

当別140年記念共催

バスまつり2010

開催

●開催日時 平成22年10月9日(土) 10:00~14:00

●開催場所 JR石狩当別駅南口駅前駐車場

いろいろなバスが大集合!!

- 新が燃料のレトロなバス『まき太郎』

- ファイターズ選手の直筆サインが書かれた『ファイターズ号』

- 当別ふれあいバスで運行している小型ノンステップバス『ポンチヨ』

ゲームを通じて交通を知ろう

- ふれあいバスの路線や環境のことを学びながら遊ぶ、交通すごろくや交通クイズ大会を開催。

環境問題、ふれあいバスを

パネルや映像でもっと知る!!

- 地球温暖化やふれあいバスの環境への貢献などをパネルや映像で紹介！

『バスの乗り方教室』・『バリアフリー教室』、屋台や縁日など、この他にも、いろいろなイベントを開催予定。

家族や友達を誘って、会場に行こう！



同時開催

- さわやか駅伝大会

- ふれあい倉庫感謝祭&姉妹都市交流まつり
お買得な採れたての野菜や、姉妹都市特産品の実演販売!

バス試乗会も開催!



ふれバ

コミュニティバス、
本バス通信へのお問合せ

当別町地域公共交通活性化協議会事務局(当別町企画部企画課内)
〒061-0292 当別町白樺町58-9 TEL0133-23-3042 FAX0133-23-3206

第2回 当別町コミバス 運行事業者連絡会議開催

8月11日(水)、当別町役場で、北海道医療大学、スウェーデンハウス(株)、(有)下段モーターズ、当別町で構成される当別町コミバス運行事業者連絡会議の2回目を開催しました。今回の会議では、コミュニティバスの路線のうち、これまで利用が多い便、少ない便のデータを示しながら、来年度以降、赤字を出さずに運行するための本格運行路線案について議論しました。また、収入を増やす方法として、新たな広告掲載企業を獲得することについても検討しました。



本連絡会議及び当別町地域公共交通活性化協議会において検討している本格運行路線については、一定の方向性が決まり次第、このようにべつバス通信等で報告させていただきます。

第5回 日本モビリティ・マネジメント会議で JCOMMプロジェクト賞受賞!



石田東生理事長(筑波大学教授)から表賞状を受け取る、当別町企画部企画課 熊谷課長

7月30日(金)〜7月31日(土)、第5回日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)※が広島県福山市で開催され、当別町地域公共交通活性化協議会と当別ふれあいバス運行事業者の(有)下段モーターズ、(社)北海道開発技術センターが、JCOMMプロジェクト賞を受賞しました。これは、当別町における官民一体となったコミュニティバス事業や小学校における交通と環境の学習、バイオディーゼル燃料による運行、バスまつりなどのイベント開催やとうべつバス通信の発行など、多面的な取り組みが評価されたものです。

お知らせ

当別ふれあいバスの運賃割引制度について

障がい者手帳をお持ちの方へ

手帳を持って
お乗りください

身体・知的・精神等の障がい者手帳(等級不問)をお持ちの方のバス運賃が、半額になります。バス乗車時には、障がい者手帳を忘れずにご持参ください。(応援券・回数券を利用する際もお願いします)。降車の際、バス運転手から手帳の提示を求められる場合があります。

なお、介護人割引が適用となる場合は、障がい者(4級・中度以上)の方と一緒にバスに乗る場合のみとなりますので、ご注意ください。

※日本モビリティ・マネジメント会議:過度な自動車利用を抑制し、環境や健康といった要素からも望ましい交通手段(例えば、鉄道・バス・自転車など)への変化を促すモビリティ・マネジメントという手法について、行政・コンサルタント・交通事業者・NPO等のさまざまな立場の方々が一堂に会し、各地域の事例等を発表する会議。